

## 『リベラルアーツ学群プログラム履修モデル集』について

リベラルアーツ学群では、2年次春学期から、専門科目の履修が本格的に始まります。この履修モデル集は、みなさんが専門科目の履修を行っていくためのガイドとして編集したものです。

履修モデル集は、各プログラムの「履修の手引き」と「履修モデル」から構成されています。

### ●履修の手引き

- ・「履修の手引き」には、各プログラムから履修のしかたについてのメッセージが載せられています。ある程度自分の志望するプログラムが絞れている人は、それらのメッセージを参考にして履修を行って下さい。
- ・特に、プログラムのカリキュラムが、先修条件が設定されていて履修順序に留意する必要があるのか、比較的自由に履修できるのかで、1・2年次の望ましい履修のあり方が違ってきますので、その点を注意するようにして下さい。

### ●履修モデル

- ・「履修モデル」とは、各プログラムの科目をどのように履修していったらよいかを、例として示したものです。各プログラムを修了するためにはメジャー32単位、マイナー16単位の科目を修得することが必要ですが、どのプログラムも、それを上回る数の科目を提供しており、みなさんが、その専門分野の中でさらにテーマを絞った履修ができるようになっています。「履修モデル」とは、そうしたテーマの例にそったカリキュラムを示したものです。
- ・各プログラムの「履修モデル」ページには、そのプログラムの全科目をカテゴリーとレベルに応じて分類表示したマトリックスを記載しています。その中で「◎」のついている科目はメジャーの必修科目(教職モデルの場合は、教科に関する科目の必修科目)です。また、「○」のついている科目は、その履修モデルに該当する推奨科目です。
- ・また、「その他の推奨科目」には、そのプログラム科目以外のお勧めの科目を記載してあります。
- ・リベラルアーツ学群には、30のプログラムがありますが、この冊子には、各プログラムから提示された「履修モデル」が掲載されています。自分の関心あるプログラムの「履修モデル」をよく読んで、科目履修の参考にして下さい。

この『履修モデル集』は、みなさんが自分の学習計画を立てる際の目安として作成したものであり、モデルのとおり履修することを義務付けているわけではまったくありません。むしろ私たちは、みなさんが、Independent Learnerとして、自分の関心と視点に立って、独自の「履修モデル」を作成することを期待しています。

リベラルアーツ学群の科目編成はきわめて自由であり、内容を絞る、いろいろな分野を組み合わせる、その専門分野のさわりを学ぶ、など、さまざまな組み立て方が可能です。ぜひみなさんも、独自のテーマ性をもって自分の学習に取り組んでいって下さい。そして、「履修モデル」を通じたリベラルアーツ学群ならではの新しい学びの世界を、ともに切り開いて行きましょう。

## 心理学プログラム

|  |
|--|
| <p>履修のしかた</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・LA 専門基礎科目の「心理学概論」を最優先に履修すること。</li><li>・積み上げ型の科目が多いので、履修ガイドの「先修条件ほか」の欄をよく読むこと。</li><li>・公認心理師の受験資格希望者は、必須科目が多くあるので留意すること。「公認心理師オリエンテーション」には必ず参加すること。</li><li>・公認心理師、認定心理士の資格取得希望者は、「心理学概論」「心理学統計法I」「心理学統計法II」を早い時期に履修しておくこと。心理学統計法は不可(F)を取る学生が多い。特に注意が必要である。</li><li>・1年次に履修しておいた方がいい科目:心理学概論、心理学統計法I、公認心理師の職責など</li><li>・2年次に履修しておいた方がいい科目:心理学統計法II、心理学研究法など</li></ul>  |
| <p>他のプログラムとの関係</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・特に関連性の強いプログラム:多文化共生、教育学、コミュニケーション学など。</li><li>・マイナーとして推奨するプログラム:多文化共生、教育学。基礎的な心理学の学修を重視する場合は情報科学、データサイエンス。社会課題の解決を強く志向する場合は、統合型プログラムから興味にあうものを選ぶと良い。同じ人文領域のプログラム(例、コミュニケーション学)をマイナーにしても、卒業要件を満たさないので注意すること。</li><li>・他のプログラム、他の学群で履修を推奨する科目:対人援助コミュニケーション、多文化共生とコミュニケーション、コンピュタリテラシーIIなど。ただし、公認心理師資格取得を目指す場合は、公認心理師科目を優先した方が良い。</li></ul>  |
| <p>留学・教職その他</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・留学について:GO プログラムを利用する学生で心理学関係の資格取得を希望する者は、心理学概論、心理学統計法I、心理学統計法II、心理学研究法、公認心理師の職責を早期に修得しておくこと。</li><li>・教職について:履修単位数が増えるので留意すること。</li></ul>   |
| <p>学生へのメッセージ</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・当該プログラムの魅力:自己と人間の探究ができるプログラムです。心身の健康問題や心理支援の専門家、心理学の基礎理論と方法論に習熟した人材を育てたいと思っています。</li><li>・来て欲しい学生像、履修学生に望まれる学習姿勢:統計に関する科目や実習科目のレポート提出は苦労が多いはず。地道に努力ができる人を求めています。</li><li>・プログラムの運営方針(教育方針):手を抜いたり、さぼったりしていると単位取得は容易ではありません。やや厳しいプログラムだと言えます。そのかわり、学ぶ楽しさを実感でき、充実した4年間になるはず。</li><li>・プログラムの特徴に関する補足的説明<br/>心理の専門職(公認心理師や臨床心理士資格取得)について:カウンセラー・心理臨床家を目指す人は公認心理師や臨床心理士の資格取得が必要です。そのためには大学院へ進学する必要があります。学士課程での成績が良くないと、「心理演習」「心理実習」の科目履修や大学院進学が厳しくなりますので、進学希望者は普段から真面目に学習をする必要があります。詳しくは「公認心理師オリエンテーション」で確認して下さい。</li><li>・心理学は心の科学であり、データを取り、実証的研究を行います。そのような方法論の習熟を目指す人には、コンピュタリテラシーII、情報科学やデータサイエンスの科目の履修は大いに役立つでしょう。</li></ul> <p>本学大学院の心理学実践研究学位プログラム臨床心理分野で必要科目を履修すれば、公認心理師と臨床心理士の受験資格が得られます。同プログラムポジティブ心理分野で必要科目を履修すれば、公認心理師と専門健康心理士の受験資格が得られます。</p> <p>ただし、いずれの分野においても公認心理師の受験資格を得るためには学群において規定の要件を満たす必要があります。</p> |

## 心理学プログラム

### 1 心理支援や、心身の健康の問題の専門家を目指す履修モデル

本履修モデルは、心理学の基礎を幅広く学修しながら、心理支援や、心身の健康の問題の専門家を目指す学生に対するモデルです。公認心理師・臨床心理士・認定心理士・健康心理士などの各資格取得を目指すこともできます。資格取得にあたっては、履修ガイドで必要な科目を把握しましょう。

まずは、先修条件となっている科目を優先的に取得しましょう。LA専門基礎科目の「心理学概論」を最優先に履修して下さい。

科目によっては、その学年・学期に履修しなければ4年間で卒業できない科目もありますので、十分に気をつけて下さい。

これらを確認するためには、履修ガイドの資格欄を確認して下さい。また、各学期の始めに公認心理師等のオリエンテーションがある時には必ず参加し、自分の履修に間違いが無いかを確認して下さい。公認心理師・臨床心理士は大学院進学を想定する必要があります。ただし、学士課程(学群)での科目履修を済ませていることが前提となりますので、まず、学群の科目履修を達成することを目標としましょう。健康心理士は公認心理師または認定心理士の科目取得に加えて、「健康心理学概論」「健康・医療心理学」などの科目取得で取得できます。詳しくは履修ガイドの資格欄を確認して下さい。

### 心理学プログラム科目

| Level<br>カテゴリ         | 100 |          |    | 200 |             |    | 300 |       |    | 400 |         |    |
|-----------------------|-----|----------|----|-----|-------------|----|-----|-------|----|-----|---------|----|
|                       | 推奨  | 科目名      | 単位 | 推奨  | 科目名         | 単位 | 推奨  | 科目名   | 単位 | 推奨  | 科目名     | 単位 |
| 基礎<br>論・<br>方法        | ◎   | 心理学統計法I  | 2  | ◎   | 心理学研究法      | 2  |     |       |    |     |         |    |
|                       |     |          |    | ◎   | 心理学統計法II    | 2  |     |       |    |     |         |    |
| 展<br>開<br>科<br>目      | ○   | 公認心理師の職責 | 2  | ○   | 臨床心理学概論     | 2  |     |       |    |     |         |    |
|                       |     | 医学一般     | 2  |     | 学習・言語心理学    | 2  |     |       |    |     |         |    |
|                       |     | 健康心理学概論  | 2  |     | 感情・人格心理学    | 2  |     |       |    |     |         |    |
|                       |     | 生涯発達心理学  | 2  |     | 神経・生理心理学    | 2  |     |       |    |     |         |    |
|                       |     | 精神医学     | 2  |     | 社会・集団心理学    | 2  |     |       |    |     |         |    |
|                       |     |          |    |     | 障害者(児)心理学   | 2  |     |       |    |     |         |    |
|                       |     |          |    |     | ○ 心理的アセスメント | 2  |     |       |    |     |         |    |
|                       |     |          |    |     | ○ 心理学的支援法   | 2  |     |       |    |     |         |    |
|                       |     |          |    |     | ○ 健康・医療心理学  | 2  |     |       |    |     |         |    |
|                       |     |          |    |     | ○ 福祉心理学     | 2  |     |       |    |     |         |    |
|                       |     |          |    |     | ○ 教育・学校心理学  | 2  |     |       |    |     |         |    |
|                       |     |          |    |     | ○ 司法・犯罪心理学  | 2  |     |       |    |     |         |    |
|                       |     |          |    |     | ○ 関係行政論     | 2  |     |       |    |     |         |    |
| 実<br>習<br>・<br>演<br>習 |     |          |    |     | 知覚・認知心理学    | 2  |     |       |    |     |         |    |
|                       |     |          |    |     | ○ 産業・組織心理学  | 2  |     |       |    |     |         |    |
|                       |     |          |    |     | 家族心理学       | 2  |     |       |    |     |         |    |
|                       |     |          |    |     |             |    | ○   | 心理演習  | 2  |     | 心理学実験実習 | 2  |
|                       |     |          |    |     |             |    | ○   | 心理学実験 | 2  |     | 心理実習    | 4  |

### その他の推奨科目 ※〔 〕内は単位数

- ◎ 心理学概論〔2〕
- ・ 専攻演習 I〔2〕
- ・ 専攻演習 II〔2〕
- ・ 卒業論文／卒業研究〔4〕

- ◎ 必修科目
- 公認心理師受験資格取得のための科目のうち、先修条件となっている科目  
(取得に必要な科目は○以外にもあることに注意。履修ガイドで確認すること)

## 心理学プログラム

### 2 基礎的な心理学の学修を重視する履修モデル

本履修モデルは、基礎的な心理学や、統計法・研究法などの方法を身につけることを重視したモデルです。最終的には心理学の卒業論文の作成を目指すことを目標としましょう。

LA専門基礎科目の「心理学概論」を最優先に履修して下さい。次に、基礎・方法論の科目を早めに履修し、心理学実験などの基礎系の演習科目の履修を目指しましょう。実習・演習科目には先修条件がありますので、履修ガイドの「先修条件など」の欄を読み、十分に気をつけて下さい。

展開科目は、自分の興味のある分野を中心に履修すれば良いでしょう。推奨科目にこだわる必要はありません。

認定心理士の取得を目指す方は、履修ガイドの資格欄をよく読んで履修計画を立てて下さい。

### 心理学プログラム科目

| Level<br>カテゴリ | 100 |          |    | 200   |            |    | 300 |         |    | 400 |         |    |
|---------------|-----|----------|----|-------|------------|----|-----|---------|----|-----|---------|----|
|               | 推奨  | 科目名      | 単位 | 推奨    | 科目名        | 単位 | 推奨  | 科目名     | 単位 | 推奨  | 科目名     | 単位 |
| 基礎論・方法        | ◎   | 心理学統計法I  | 2  | ◎     | 心理学研究法     | 2  |     |         |    |     |         |    |
|               |     |          |    | ◎     | 心理学統計法II   | 2  |     |         |    |     |         |    |
| 展開科目          |     | 公認心理師の職責 | 2  |       | 臨床心理学概論    | 2  |     |         |    |     |         |    |
|               |     | 医学一般     | 2  | ○     | 学習・言語心理学   | 2  |     |         |    |     |         |    |
|               |     | 健康心理学概論  | 2  | ○     | 感情・人格心理学   | 2  |     |         |    |     |         |    |
|               |     | 生涯発達心理学  | 2  | ○     | 神経・生理心理学   | 2  |     |         |    |     |         |    |
|               |     | 精神医学     | 2  | ○     | 社会・集団心理学   | 2  |     |         |    |     |         |    |
|               |     |          |    |       | 障害者(児)心理学  | 2  |     |         |    |     |         |    |
|               |     |          |    |       | 心理的アセスメント  | 2  |     |         |    |     |         |    |
|               |     |          |    |       | 心理学的支援法    | 2  |     |         |    |     |         |    |
|               |     |          |    |       | 健康・医療心理学   | 2  |     |         |    |     |         |    |
|               |     |          |    |       | 福祉心理学      | 2  |     |         |    |     |         |    |
|               |     |          |    |       | 教育・学校心理学   | 2  |     |         |    |     |         |    |
|               |     |          |    |       | 司法・犯罪心理学   | 2  |     |         |    |     |         |    |
|               |     |          |    |       | 関係行政論      | 2  |     |         |    |     |         |    |
|               |     |          |    |       | ○ 知覚・認知心理学 | 2  |     |         |    |     |         |    |
|               |     |          |    |       | ○ 産業・組織心理学 | 2  |     |         |    |     |         |    |
|               |     |          |    | 家族心理学 | 2          |    |     |         |    |     |         |    |
| 実習・演習         |     |          |    |       |            |    |     | 心理演習    | 2  | ○   | 心理学実験実習 | 2  |
|               |     |          |    |       |            |    |     | ○ 心理学実験 | 2  |     | 心理実習    | 4  |

### その他の推奨科目 ※〔 〕内は単位数

- ◎ 心理学概論〔2〕
- ・ 専攻演習Ⅰ〔2〕
- ・ 専攻演習Ⅱ〔2〕
- ・ 卒業論文／卒業研究〔4〕

- ◎ 必修科目
  - 推奨科目
- (推奨科目だけでメジャーが完成するわけではないことに注意)